

第 55 回研究会の開催方法について

2020.5.10

日本語教育方法研究会（JLEM）事務局

JLEM 運営委員会において協議した結果、本年 9 月 12 日に予定されている第 55 回研究会の開催方法を以下のように決定しましたので、お知らせします。

- 1) 第 55 回研究会については、予定していた静岡大学では開催せず、オンライン開催とする。
- 2) 新規の発表は募集せず、中止となった本年 3 月の第 54 回研究会の発表者から希望者を募る。なお、既発表の研究課題であり、既に研究業績となっているため、今回発表を行ったとしても新たな研究業績とは見なさない。
- 3) 運営上の都合により、発表件数に上限を設け、それを超える発表希望があった場合には抽選で発表者を決める。
- 4) 研究会誌は発行しないが、発表者は事前に発表用ポスターを提出、参加者が事前に閲覧できるようにする。
- 5) 参加者数についても上限を設け、会員対象の事前申し込み制（先着順）とする。

上記の 1) ～5) について説明いたします。

1) 現時点で新型コロナウイルス感染症に関して収束の見通しが立っていないため、対面式の研究会を安全に開催する確証がないため、このような対応をすることとなりました。

2) これには二つの理由があります。まず、(オンラインではありますが)中止となった第 54 回研究会の発表者に聞き手のいるところで発表する機会を提供するということです。

もう一つは、過密スケジュールの中で、本研究会運営委員の業務の負担軽減ということがあります。通常 9 月開催の場合、7 月末から 8 月前半にかけて編集作業が発生しますが、今年度に関しては、前期の授業開始を遅らせた大学等が多く、この時期は、運営委員の大部分が授業期間中で、例年のように編集作業等の運営準備に時間を割くのが難しい状況です。そのため、編集作業が必要ないこの開催方法であれば、何とか運営できるのではないかと考えた次第です。

3) ご存じのとおり、JLEM は発表者全員がポスター発表を行います。オンライン開催の場合には通常の会場開催とは異なり、同時進行で行える発表の数が限られるため、全体の発表件数も通常より少なめとなってしまいます。6 月のはじめに研究会内でオンラインのポスター発表の試行を予定していますので、発表件数の上限については、それを踏まえて決め、

その後第 54 回研究会発表者を対象に発表者募集を行う予定です。

4) 参加者が事前に発表の概略について把握しておくことができれば、論点が明確になり、発表時により活発な議論が可能となります。ポスターの事前閲覧は発表の内容把握の助けになると考えています。なお、ポスターの事前閲覧は、第 55 回研究会の特設ウェブサイト上で行います。

5) 運営上の都合により、受け入れることができる参加者にも限りがあります。そのため、通常は行っていない事前申し込み制とし、参加可能人数の上限に達した時点で申し込みを締め切ることとします。参加可能人数についても、6 月の試行を受けて決定する予定です。

第 55 回研究会でのご発表を検討してくださっていた方には大変申し訳ありませんが、このような事情ですので、ご理解いただければ幸いです。

暫定ではありますが、今後のスケジュールについては以下のようなものを考えています。

第 55 回研究会スケジュール

6 月中旬までに 第 54 回の発表者を対象に発表者募集

7 月 27 日 (月) 13:00 発表申し込み締め切り

7 月 31 日 (金) (申込者が上限を超えた場合) 発表の可否を発表者に通知

8 月 7 日 (金) プログラム確定後、全会員に参加方法について連絡、先着順で申し込みを受け付ける

8 月 28 日 (金) 発表者ポスター提出期日

9 月 7 日 (月) 発表ポスター事前閲覧開始

9 月 12 日 (土) 第 55 回研究会当日

以上、よろしく願いいたします。